

日高村総合発信拠点「村の駅ひだか」

～日高にできた4つ目の駅～



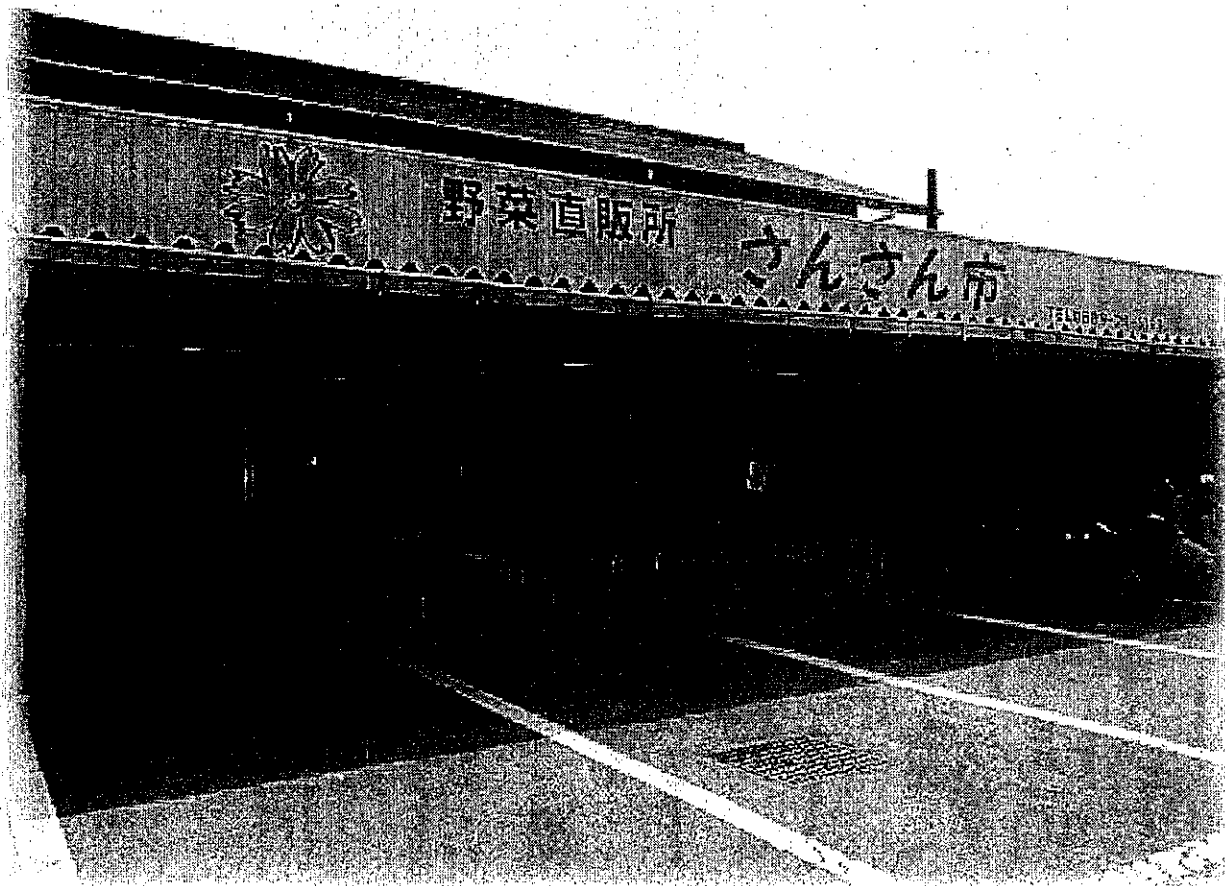
平成27年2月10日

村の駅ひだか 駅長 朝日 雄志郎



経緯 (1)

○村の駅ひだかは…



農産物直販所「さんさん市」を大規模改修して開設



経緯 (2)

○平成4年12月：農産物直販所「さんさん市」開設

- ・売上は、平成11年度の約1億円をピークに減少

○平成21年7月：「日高村さんさん市活性化委員会」

- ・高知大学教授にも参画いただき、活性化に向けた検討を実施

○平成23年8月：「日高村さんさん市道の駅構想策定検討委員会」

- ・商工活性化の視点からも、村を案内する基地、物産館の整備が重要との提言があり、道の駅の整備に向けた検討を実施

○平成24年10月：「日高村さんさん市大規模改修検討委員会」

- ・大規模改修に向けた実施設計として、関係者による具体的な検討を実施

○平成25年5月：「高知県産業振興推進総合支援事業費補助金」申請

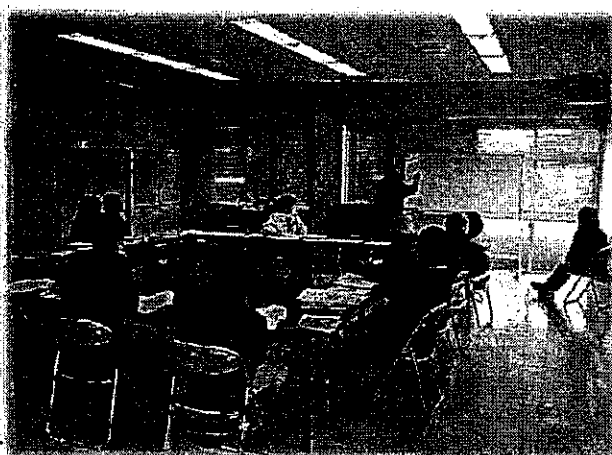
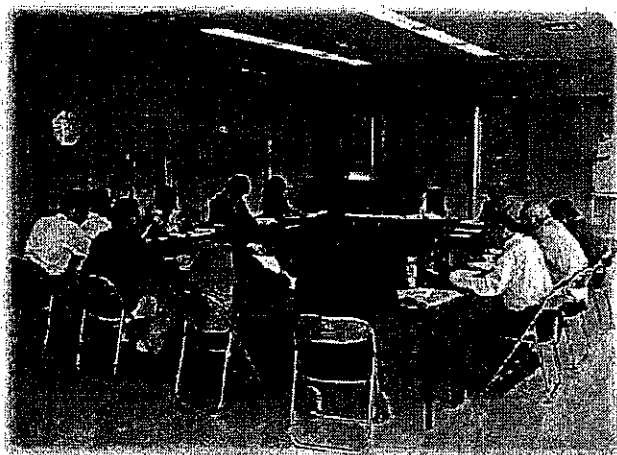
- ・施設の改修に向けて、当該補助金の交付を申請⇒平成25年6月交付決定



経緯 (3)

○平成25年10月：「日高村総合発信拠点施設整備検討委員会」

- ・施設の運営体制の構築や、より具体的な整備などの検討を実施
- ・高知県産業振興推進アドバイザーとして、愛媛県「道の駅みま」の支配人 松浦友昭 氏、「株式会社モデルビレッジ」の代表取締役 小松一之 氏からも助言をいただく



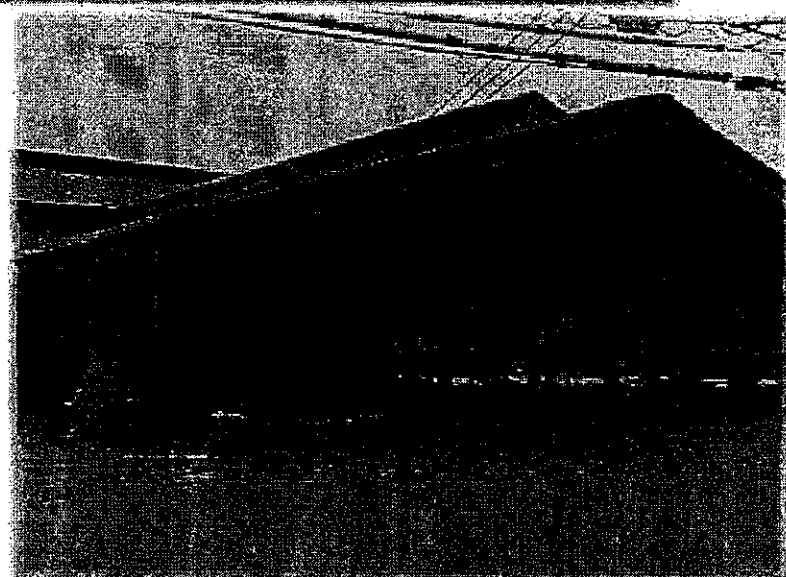
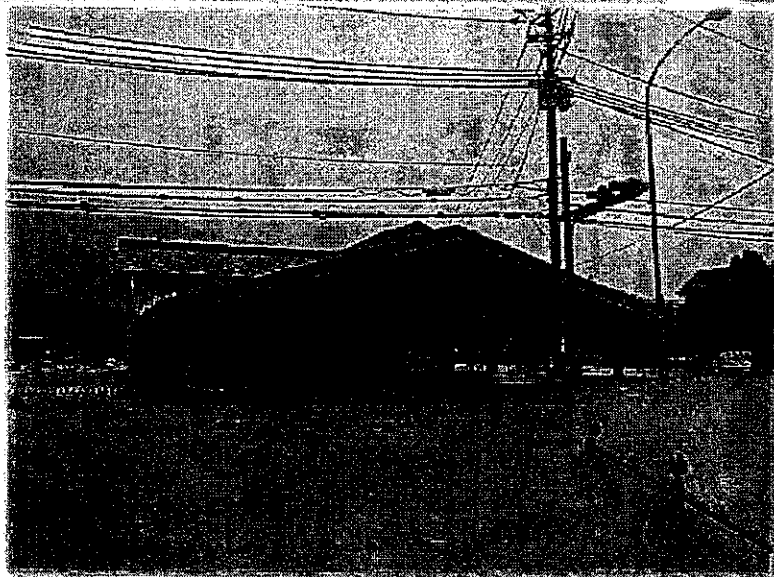
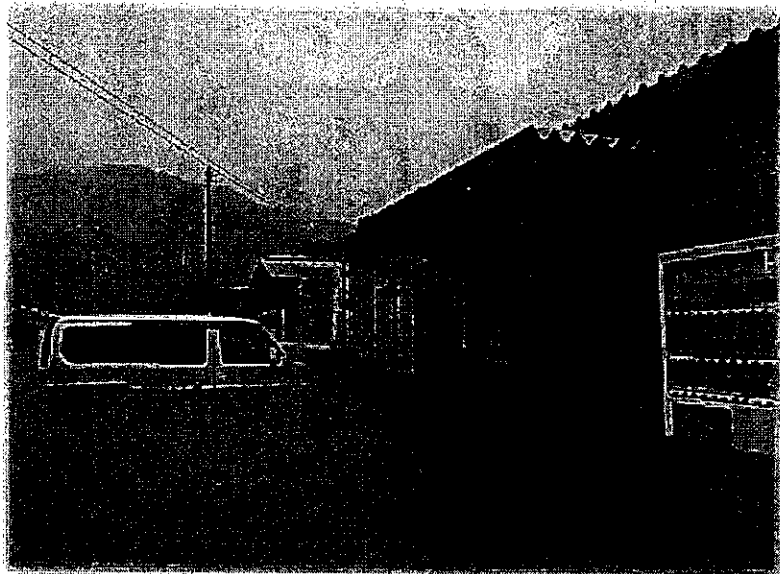
○平成26年7月：「株式会社村の駅ひだか」設立

- ・新施設「村の駅ひだか」の運営を行うため、第3セクターの新会社を設立
- ・施設工事中に伴うさんさん市仮設店舗を運営しながら、新施設の開設準備を実施



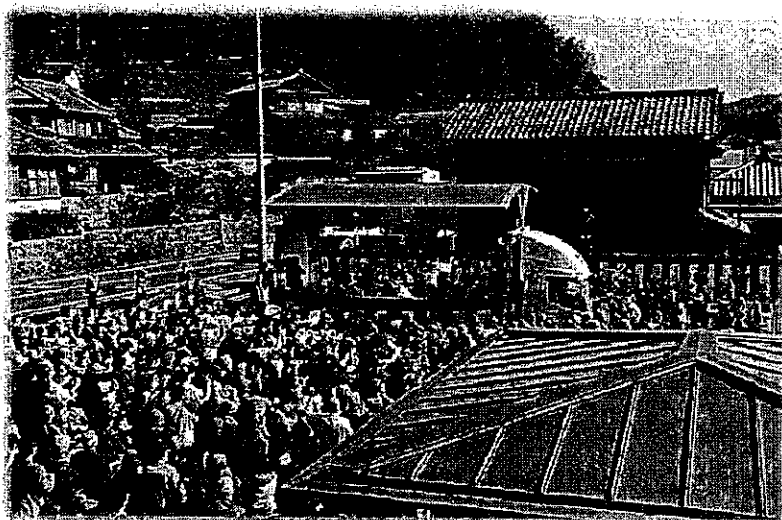
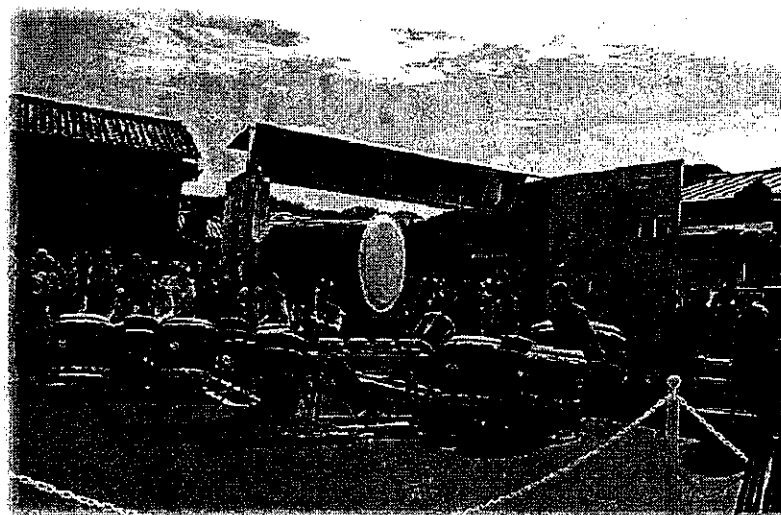
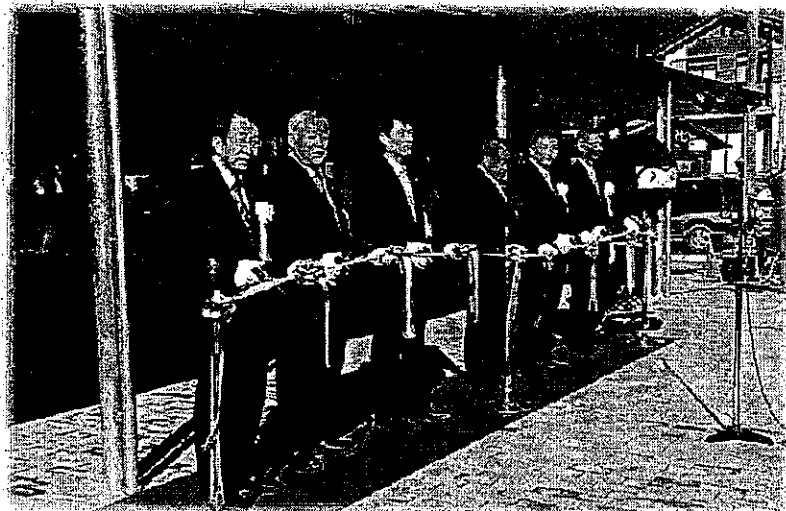
経緯 (4)

○工事中は、台風12号による水害にも見舞われました



経緯 (5)

○平成26年11月16日：「村の駅ひだか」グランドオープン
・11月1日のプレオープンを経て、本格オープン



經緯 (6)



経緯 (7)

○改修の概要

1. 新施設の概要

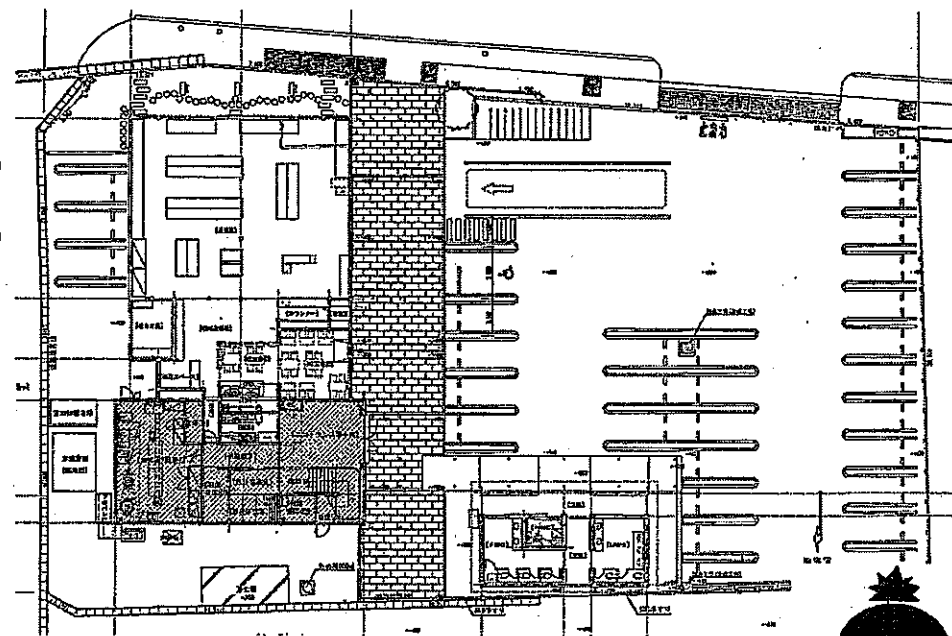
面積・・・1階村の駅ひだか：357.57㎡

本郷多目的集会所面積：177.8㎡（1階：45.0㎡、2階：132.8㎡）

事業費・・・総工事費約2億円（うち高知県補助金5,100万円）

2. 構成施設

- ・直販スペース（拡充）
- ・日高村の観光情報発信コーナー（新設）
- ・厨房およびイートインコーナー（新設）
- ・加工スペース（機器整備）
- ・仕分け室（新設）
- ・トイレ棟（別棟で新設）
- ・プロムナード（新設）
- ・駐車場（拡充）



取り組みの現状

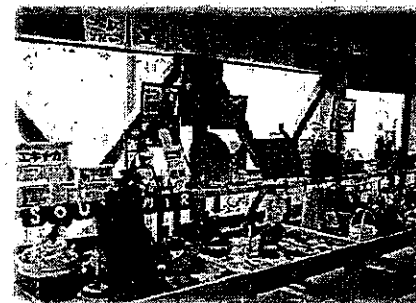
○「村の駅ひだか」の強み

- ・特産品のトマトを前面に出した売り場づくり
- ・トマトにこだわった加工食品の開発・販売



○日高村商工会との連携

- ・店舗内「エキナカ商工会」での、商工会員による売り場づくり



○地域ならではの商品の充実

- ・仁淀川流域のこだわった加工品コーナーの設置
- ・土佐の地酒コーナーの設置



○毎日買える店づくり

- ・日々使う商品も充実させて、近隣の方々の「ワンストップ店舗」を目指す

○観光をはじめとする日高の情報発信等

- ・めだか池のフットパスや国宝、オムライス街道などの説明・案内
- ・村の駅やフットパス、オムライスをバスツアーに組み込んだ集客
- ・イベントへの出店による特産品販売や日高村PR



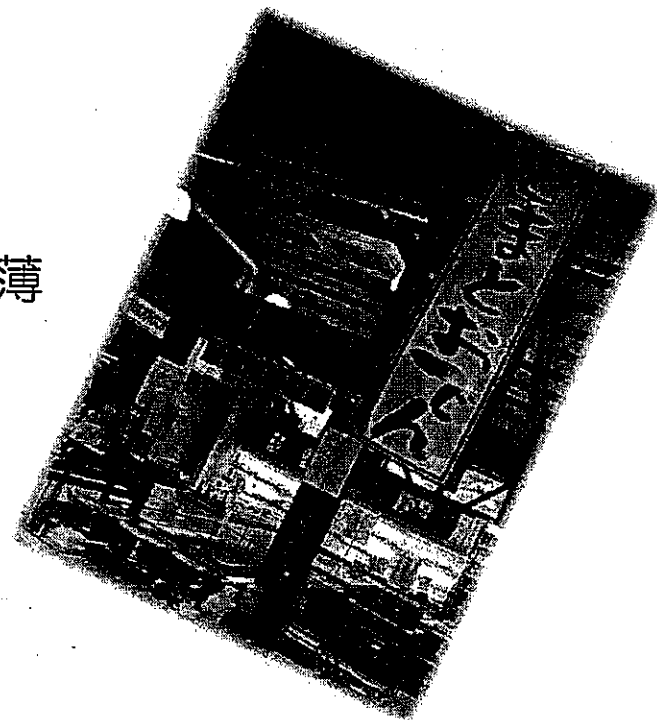
今後の展開など

○課題

- ・ 時期や時間帯での野菜類の品薄
- ・ 加工食品製造事業者の定休日、製造量不足による品薄
- ・ 観光目的での利用者の一層の増加

○展開

- ・ 「出荷部会」との連携強化
- ・ 集出荷体制の構築とネット販売等による販路の拡充
- ・ 加工品の一層の充実、後継者の育成
- ・ イベントの定期開催、情報発信
- ・ 体験観光商品の積極的な開発と村の駅を発着点にした展開、ツアーの誘致



ご清聴ありがとうございました

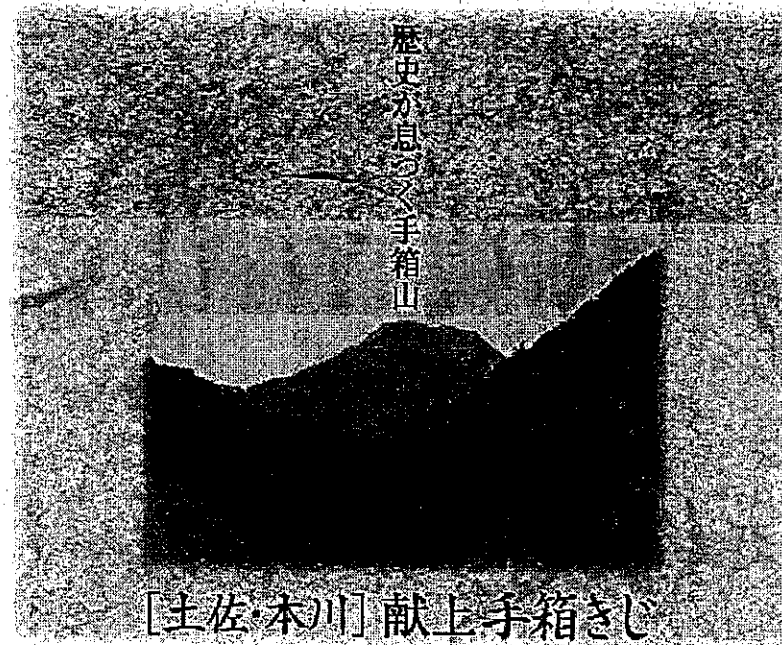


今後とも、よろしくお願ひ申し上げます



『本川手箱きじ』

ブランドの確立



本川手箱きじ生産企業組合

代表理事 本山 博文

本川きじの経緯

- 昭和55年 養殖がスタート
- 昭和56年 JA土佐れいほくに出荷
- 平成17年 高齢化・後継者不足で旧本川きじ生産組合解散
～ 前組合長が1人で飼育
- 平成20年 本川きじ生産組合を5人で再編
- 平成21年 庭先農家に(有)手箱建設と石川産業(有)が参加
- 平成26年 本川手箱きじ生産企業組合設立



飼育環境とこだわり

◎ 美しい環境

養蚕舎は、標高約700m

の極寒の高地で飼育

のこだわり

は、配合飼料

を配合

⇒良質な肉質



地域APと活用した支援事業

○地域アクションプラン

『本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発』

いの町本川地区の特産品として「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。
事業主体・・・本川きじ生産組合、庭先農家、いの町

○活用した支援事業

- ・20年度 県地域づくり支援事業費補助金
- ・21年度 県産業振興推進総合支援事業費補助金
- ・22～24年度 農商工連携事業化支援事業(高知県産業振興センター)
- ・24～26年度 産業振興アドバイザー制度
- ・26年度 連携組織活性化支援事業(高知県中小企業団体中央会)

H26年度の取組

- 企業組合の設立
- 新商品「きじ重」の開発とお披露目試食会
- 販売戦略の策定
- 首都圏等での市場調査・個別商談
- 商品PR用アイテムの制作

企業組合の設立

○背景

- ・販売体制や経営計画が脆弱
- ・販路拡大に苦戦
- ・任意組合では顧客の信頼度が低い

○課題

- ・組織体制の強化、事業拡大

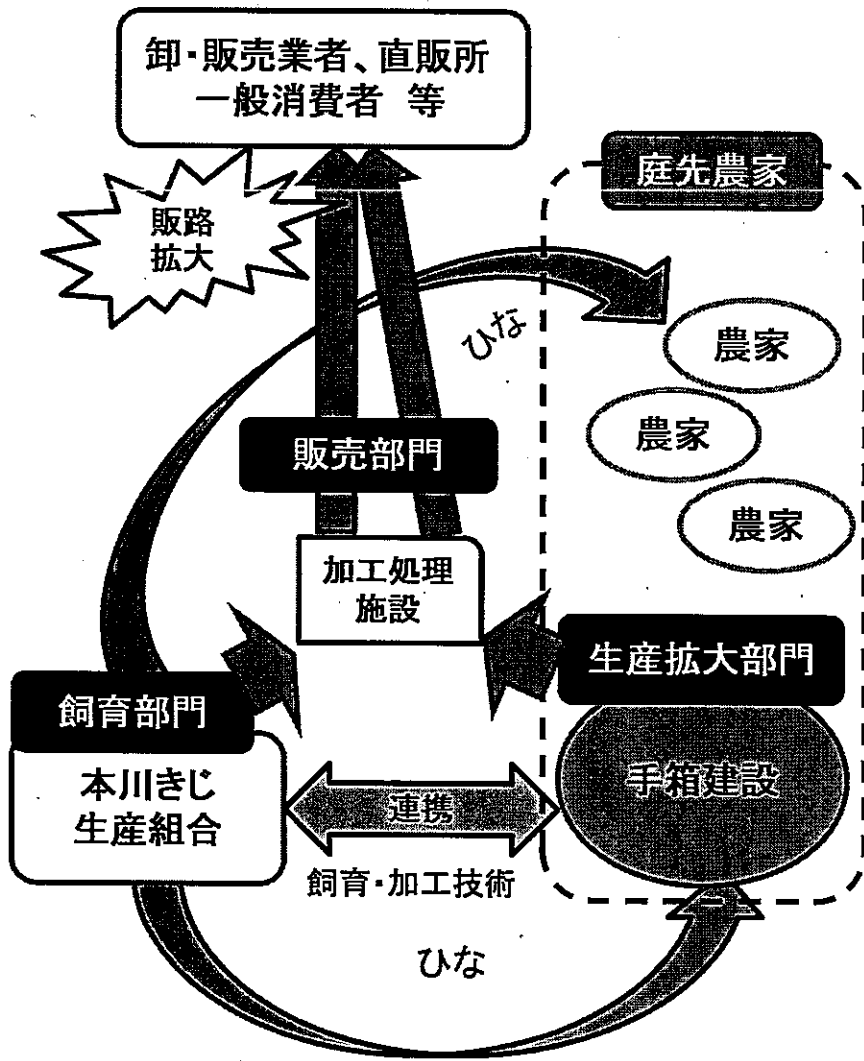
○取組内容

- ・産業振興アドバイザーの指導
- ・経営計画の策定
- ・組織体制の改編

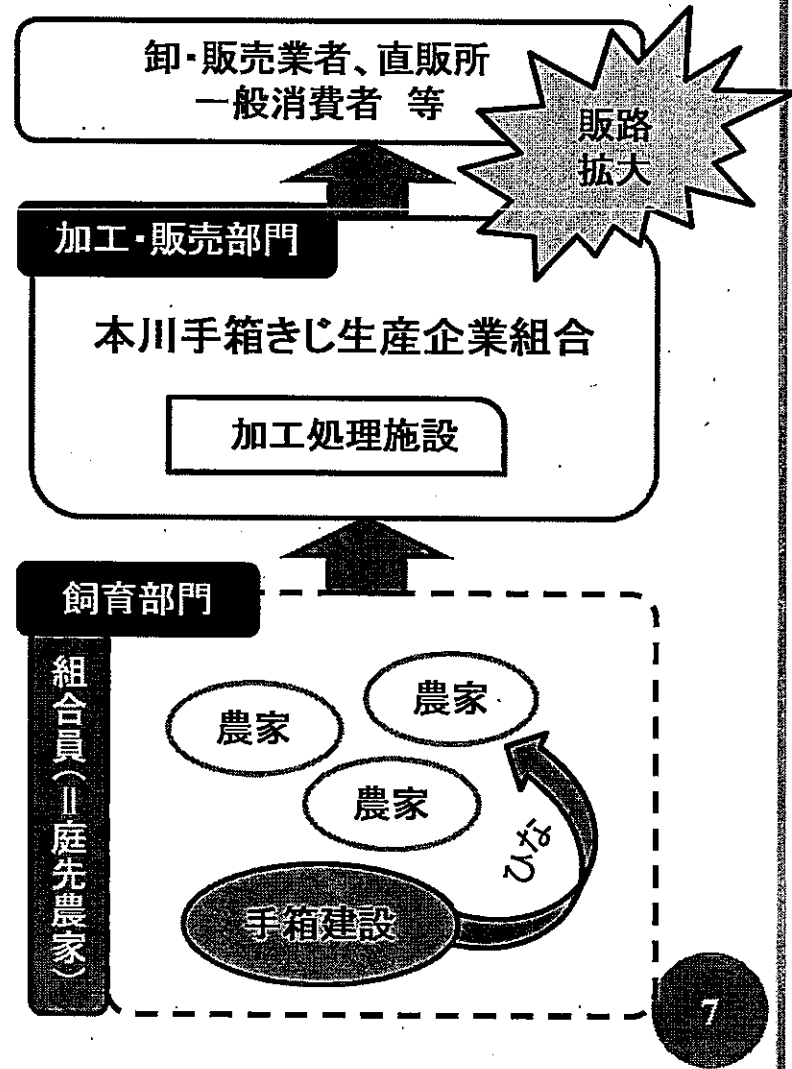
⇒企業組合の設立(H26.12.5)



組織体制と役割(業務)分担



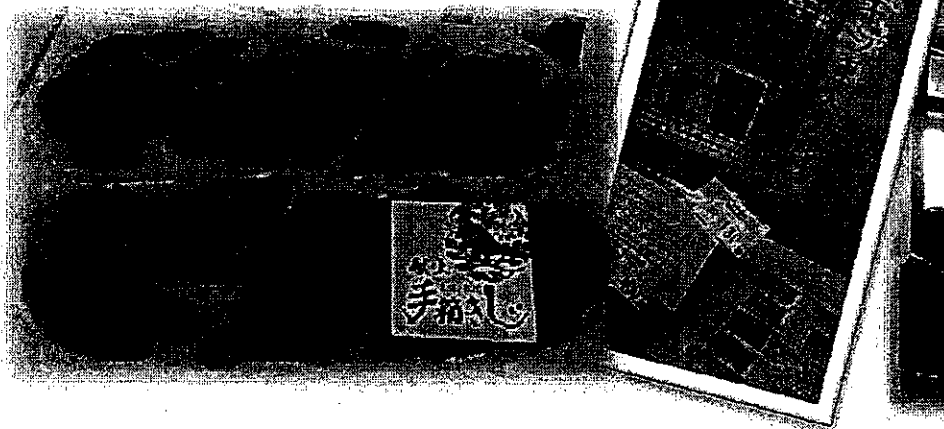
< before >



< after >

新商品「きじ重」とお披露目試食会

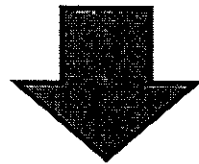
第2弾も
進行中!!
お楽しみに!!



「本川手箱きじ」のブランド化



地産地消・外商を推進
本川地区の基幹産業へ
本川地区の雇用の創出



本川地区を元気に!!

ご清聴ありがとうございました。

